

# 楽しい中キャンプファイヤー

キャンプファイヤーは主に、室内で行われるプログラムの一つです。屋外でのキャンプファイヤーの大きな炎のような雄大さはありませんが、キャンドルの光は人の心を洗うような澄んだ輝きがあります。この光は、厳粛で神聖な雰囲気があり、一日のプログラムを静かにふりかえるよい機会となります。

また、屋内での実施のため、気象条件に左右されることなく、声も通りやすいため、参加者の集中力を保ちやすいという利点があります。さらに、キャンプファイヤーに比べて、設営の負担が極端に少ないことや、全員に分火しやすいこと、危険度が少ないことなど、運営にかかる労力が少ないことがあげられます。自然に対してもローインパクトであることもキャンプファイヤーのよいところです。

キャンプファイヤーの荒天時の代替プログラムにもなります。

## ■キャンプファイヤーのねらい

- ① 親睦を図る。
- ② グループワークのふりかえりの機会として実施する。
- ③ 話し合いの場として実施する。

※大きくはこの3つですが、運営側がきっちりと狙いを絞ることが大切です。

## ■活動場所

- ① 体育館 400名まで
- ② オリエンテーションホール 200名まで
- ③ 大研修室 100名まで
- ④ 中研修室 70名まで
- ⑤ いろりの館 40名まで

\*会場は団体の規模や当日の利用状況などに応じて、ご検討ください。

営火長 火の神(女神) 司会者 営火係 機器係 準備係 後始末係 救護係 緊急係 など

## ■全体の流れ

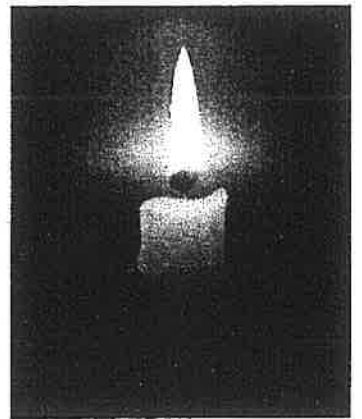
はじめの儀式



つどいの儀式



おわりの儀式



## ■■■■ はじめの儀式 ■■■■

- ・照明を消し、厳かな雰囲気の中で、キャンドルトーチを持った、火の神様が入场する。
- ・火の神様はトーチを営火長へ渡し、静かに去る。
- ・営火長は参加者へ話をした後、参加者代表数名のキャンドルトーチに誓いの言葉を述べさせながら分火する。
- ・参加者代表は、キャンドル台のろうそくに静かに点火し、最後に自分のろうそくを立てる。

## ■火の移し方(分火)の例

### ①火の神様が行う方法

・初めに、アルミホイルなどで受け皿を付けたろうそくを参加者全員が持った状態で、照明を暗くしておき、全員が静かに入场。キャンドル台を円形に囲む

・厳かな雰囲気の中キャンドルトーチを持った火の神様が入场する(キャンプファイヤーと違い、お笑いにならないように気を付ける)

・営火長が火の神様からトーチを賜る。火の神様は一礼して静かに去る(火の神様がメインキャンドルに点火する方法もあります)

<呼びかけ>

(営火長) 今、神聖な炎を火の神様より賜りました。この神聖な火の恩恵を皆にも平等に分け与えたいと思います。分火。

※営火長の両サイドの人からトーチに火を分けてもらいに行く。火を持った人に、火を分けてもらう人がろうそくを持っていくこと。逆にしてしまうとろうが垂れて火傷をしたり、床にろうが落ちてしまいます。

※参加者代表や引率者代表が心に残るような話をしたり詞を朗読したりします。静かに火を消していき、最後にキャンドル台の火を消す。火は危険でない方法で消しましょう。

### ②代表者複数で行う方法(この場合、代表者がキャンドルトーチを持って入场します)

<呼びかけ>

- ( ) 地球が誕生し、炎は何年も点を焦がし、大地を包んだ。
- ( ) それは、だれもどうすることもできない恐ろしい炎だった。
- ( ) やがて、人間は火を使うことを知る。
- ( ) それは、あるときには敵を遠ざける守り神となり、
- ( ) 食べ物をやわらかくし、おいしくする火にもなった。
- ( ) また、暗闇を照らし、体や心をも温めるぬくもりにもなった。
- ( ) そして、今日の前で燃え上がる火は、私たちの心の中の熱く燃え上がる炎。
- ( ) 「責任」「自主」「協力」「友情」の炎。
- ( ) 静かに灯せ 心の炎
- (全員で) 静かに灯せ 心の炎

### ■■■■ 交歓のつどい ■■■■

- ・照明をつけて明るくする。
- ・キャンドル台は、隅へ移動し、参加者に気づかれないようにろうそくの火を消しておく。
- ・はじめの部分は、気持ちや身体をほぐすような動作の入ったものや、スキンシップのあるゲームなどがよい。
- ・中程では参加者による出し物を軸にして、歌やゲームを入れていきながら雰囲気盛り上げる。
- ・全体の3分の2ほど進んだところで、最も盛り上がるようなダンスやゲームをもってくる。
- ・終盤は気持ちを静めていく。

### ■■■■ おわりの儀式 ■■■■

- ・キャンドル台のろうソクに灯をともし、中央にセットする。
- ・照明を消す
- ・キャンドル台を全員で見つめながら雰囲気を作る
- ・参加者代表や引率者代表が心に残るような話をしたり詞を朗読したりする。
- ・キャンドルファイヤーの終了を宣言し、最後にキャンドル台の火を消す。  
※火は危険でない方法で消しましょう。